



た なか かず よし
田 中 千 福



けん と
県都クラブ

津市在住の外国人に対する啓発状況は

問 三重県知事が、11月の県内の新型コロナウイルス感染者の70%が外国人住民であるとして、啓発に力を入れていくとの発言があり衝撃を受けた。県内の11月1日から12日の感染は41件あったが、このうち70%が外国人住民となると約28件となる。
今後、同様の割合で感染者が発生したと仮定すれば重大な問題であるが、津市在住の外国人に対する啓発状況はどうか。

さまざまな情報を多言語で発信している

答 今年3月の知事メッセージで8都道府県への不要不急の移動自粛要請が出た。具体的な要請が出された翌日に、津市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、知事メッセージが外国人住民にしっかり伝わるよう市民部に指示し、速やかに多言語での情報発信を行った。
8月時点の感染者は、外国人の割合が高いとの公表を受け、再度、市民部に対し情報提供をしっかりと行うよう指示し、多言語で新しい生活様式の一列を分かりやすく呼びかけるチラシの作成やHPトップ画面でタグを設けるなどの対応を行っている。
今後も引き続き、外国人住民へ丁寧な情報提供に努めていく。

●その他の質疑・質問●

- 新型コロナウイルス感染防止対策に係る県から外国人に対する具体的な啓発要請は
- 小学校の水泳授業について
 - 小学校の水泳授業の現状は
 - プール施設の現状は
 - 今後の水泳授業はどのようにしていくのか
- 国道163号バイパス（美里・片田・櫛形地区）の工事の進捗状況は



▲新型コロナウイルス感染症に係る外国人住民への生活相談



さ とう ゆう き
佐 藤 有 毅



いっ しん かい
一 津 会

雲出川水系の河川整備をどう充実させるのか

問 国土交通省では、気候変動による水災害リスクの増大に備え、流域のあらゆる関係者による流域治水へ転換し、ハード・ソフトの一体的な事前防災対策を加速していくとのことから、雲出川水系流域治水プロジェクトが策定される予定だが、これまでの雲出川水系河川整備計画からどのように充実されていくのか。また、内水氾濫対策として、津市はどう考えているのか。

ソフト・ハード全体を一体とした事前対策を

答 これまでの雲出川水系河川整備計画に加えて、雲出川水系流域治水プロジェクトでは、5年から10年をかけて流域治水に取り組むことを考えている。ハード面では、君ヶ野ダムの洪水調整機能の強化など、ソフト面では、洪水やため池のハザードマップを作成し、防災情報をよりしっかりと提供するなど、流域全体で治水に取り組んでいく。
内水氾濫対策としては、これから5年間で国土強靱化予算を活用して直轄事業をしっかりと進めていただくことによって、最終的に雲出川流域の6カ所の無堤防部分を全て閉めることで、堤防機能を強化していきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

- 少人数学級の実現に向けて
 - 津市の方向性と学校施設の整備について
- 来年度から開始の津市G I G Aスクール構想の進捗状況は
- 学校における働き方改革の取り組み状況は



▲流域治水プロジェクトにより浸水被害の軽減が図られる